

保護者等からの事業所評価の集計結果

公表	
事業所名	てらびあぽけっと練馬桜台教室

公表日 2026年 2月 20日

年 月 日 利用児童数 46人 回収数 31人

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏えた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	30		1		身体を動かすスペースと集中して取り組むスペースが分けられてよいと思う、	今後も安全に配慮して活動に十分なスペースを確保していきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	28	1	1	1		
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	27	1		3		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているだと思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	30	1			いつも清潔でよい環境だと思う。	掃除や消毒等を引き続き行い、清潔な空間作りを行っていきます。
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	27	1		3		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	27	1	1	2		
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	28	2		1		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	25	1	1	4		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	28	2		1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	24	4		3		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	13	2	6	10		
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	29	2				
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	31					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレンツ・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	5	4	13	ペアトレーニングぜひ参加したいです。	準備がと整い次第実行したいと考えていますので、少々お待ちくださいませ。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	29	2				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	29			2		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	31					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	3	10	16	知らないだけかもしれません	保護者様にニーズを確認し、必要に応じて適宜開催の検討を行います。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることにについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	23	4		4		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	27	3	1			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	10	1	3	15		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	30	1				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20	2	1	9	入口ドアに訪問者が確認出来るモニターがあるとより良いと思います。	モニターを取り付けます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っていますか。	6	1	2	22	非常時の対応は書面と契約の際の動画のみである。	非常時の対応を分かりやすく伝える方法を考えます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	22	1	1	7	非常時の対応は書面と契約の際の動画のみである。	非常時の対応を分かりやすく伝える方法を考えます。

	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19	1	1	10	事故が起きていないのでわかりません	今後も事故が発生しないよう対策を徹底していきます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	29	2			いつも先生方に気持ちを受け止めて貰っているので、安心感を持っていると思う。	今後も安心して利用できる環境づくりを大切にします。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	26	5			毎日行くのを楽しみにしています。	今後も楽しさを味わいながら活動でき、また通所したくなるような支援を行っていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	30	1			とても満足しています。	今後もお子様が様々なことに興味を持ち、いきいきと活動できるよう努めています。

事業所における自己評価結果

公表						
事業所名		てらびあぽけっと練馬桜台教室				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6			
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1	職員が休んだ場合など不足に感じる事がある	急な体調不良などの人員配置体制を整える必要がある。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6			
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	1		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5			
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6			
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7			
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	1	まだその状況がありません。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			

関係機関や保護者との連携	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6			
	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1	3	まだそいつた機会がない。	
	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	4		
	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	2		
	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	1		
	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2		
	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	2		
保護者への説明等	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6			
	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	1		
	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		5		
	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	2	3	これから実地予定	
	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5		
	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	2		
非常時等の対応	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	2	2		
	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6			
	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	2		
	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			
	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	2		
	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			
	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	1		

事業所における自己評価総括表

公表				
○事業所名	てらぴあぽけっと練馬桜台教室			
○保護者評価実施期間	2025年 12月1日		~	2025年12月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	46名	(回答者数)	31名
○従業者評価実施期間	2025年12月1日		~	2025年 12月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 12日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	安心感を持って通所していただいている	日々の振り返りの中でご家庭でのご様子をお伺いさせていただきました。お子様の今課題になっていることだけでなく、お子様の持つ強みを中心にセラピーの内容を考えています。成功体験の積み重ねで、楽しく自己肯定感を高めていくことを意識しています。	はじめの一年で、まずは楽しく成長していくセラピー作りを第一にしてきました。 次年度は更にお子様にあった内容の濃いものにしていくと同時に、ご家庭でもできることを提案していくようになっていきたいと思います。
2	他施設連携の実施	お子様が日中過ごす保育園や幼稚園に見学に伺わせていただきました。見学の際に先生方とお話しする時間をいただき、教室で出来そうなこと等を検討し、セラピーに取り入れました。園の先生にも見学にお越しいただき、連携をすすめて参りました。	まだまだ伺い切れていないため、次年度は新しい園にも伺い、また現在連携のある園との連携も継続し、教室内だけにとどまらず、地域でお子様の支援を考えていく環境作りに積極的に参加していきたいと思います。
3	お子様に合わせた小集団活動の目標設定	小集団の活動の中でもお子様それぞれの目標を設定して取り組みました。 集中を促すのも声掛けだけに拘らず、感覚を入れながらの参加や、先に何をするのか説明する等、お子様一人ひとりに合わせた参加の方法を考え取り組みました。	保護者様、関連機関のお話も伺い、丁寧にアセスメントできるようにし、お子様の発達段階に合わせた参加の方法を考え、目標を設定していきます。 教室での成功体験の積み重ねが園や就学前での生活につながっていけるよう考えていきたいと思います。
	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われるること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母会や保護者会等の開催ができていない	教室の特性上、保護者様同士の交流や、イベントの開催が難しい。 土日もセラピーを実施しており、就労している保護者様を含め参加しやすい開催日を設定することが難しい。	保護者様同士の直接の交流機会の設定は教室の特性上難しいところではありますが、保護者様に共通する関心事については全体に向けて発信をする等、教室が保護者様を仲介できるようにしていきます。
2	保育所や地域との交流の機会がない	教室の特性上、施設外の活動については想定されておらず実施は難しい。	さまざまな環境の中でも楽しく過ごせることをセラピーの目標の一つとしているため、引き続きセラピーの中でS S T 等に取り組み、お子様が楽しめる環境が増えていくことに間接的にではありますが、かかわって行きたいと思います。
3	避難訓練、非常時の備えについて十分に共有できていない	職員で避難場所の下見を実施したことなど、十分に共有できていない。	非常に落ち着いて行動ができるることを目標に訓練の実施を計画していきます。 また教室の取り組みについて保護者様にもわかりやすく共有できるようにしていきます。